

第21週の発生動向(2004/5/17~2004/5/23)

- 1 咽頭結膜熱については、先週に引き続き、弘前、むつ保健所管内で**警報**が出されています。
- 2 感染性胃腸炎については、全体的に減少傾向ですが、青森保健所管内での報告数が多い状態が続いています。

第21週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		発生の 傾向
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ		0.00	1	0.07	1	0.07		0.00		0.00		0.00	2	0.03	
(60) 咽頭結膜熱		0.00	7	0.70	1	0.11		0.00		0.00	12	3.00	20	0.48	
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	1.25	32	3.20	9	1.00	1	0.20	18	3.00		0.00	70	1.67	
(62) 感染性胃腸炎	78	9.75	36	3.60	10	1.11	8	1.60	20	3.33	16	4.00	168	4.00	
(63) 水痘	17	2.13	18	1.80	9	1.00	6	1.20	13	2.17	3	0.75	66	1.57	
(64) 手足口病		0.00		0.00		0.00		0.00	1	0.17		0.00	1	0.02	
(65) 伝染性紅斑	1	0.13	1	0.10	2	0.22		0.00		0.00	2	0.50	6	0.14	
(66) 突発性発疹	4	0.50	1	0.10	3	0.33	1	0.20	6	1.00	5	1.25	20	0.48	
(67) 百日咳		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0	0.00	
(68) 風疹	2	0.25		0.00	1	0.11		0.00		0.00		0.00	3	0.07	
(69) ヘルパンギーナ	3	0.38	3	0.30		0.00		0.00	1	0.17	4	1.00	11	0.26	
(70) 麻疹(成人を除く)		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	0	0.00	
(71) 流行性耳下腺炎		0.00	3	0.30	25	2.78	1	0.20	1	0.17	5	1.25	35	0.83	
(73) 急性出血性結膜炎	1	0.50		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	1	0.09	
(74) 流行性角結膜炎		0.00		0.00	1	0.50		0.00	6	3.00	1	1.00	8	0.73	

	定点数			
	インフルエンザ	小児科	眼科	基幹
青森	13	8	2	1
弘前	15	10	3	1
八戸	14	9	2	1
五所川原	7	5	1	1
上十三	9	6	2	1
むつ	6	4	1	1
合計	64	42	11	6

※ インフルエンザ定点については、内科定点と小児科定点を合わせたものです。

発生傾向・「↑」増加傾向、「↓」減少傾向、「→」ほぼ横ばい、「空欄」患者発生数0、■ は注意報、■ は警報

表 以外の感染症法対象疾患 (16年計には、今回届出された人数を含む)

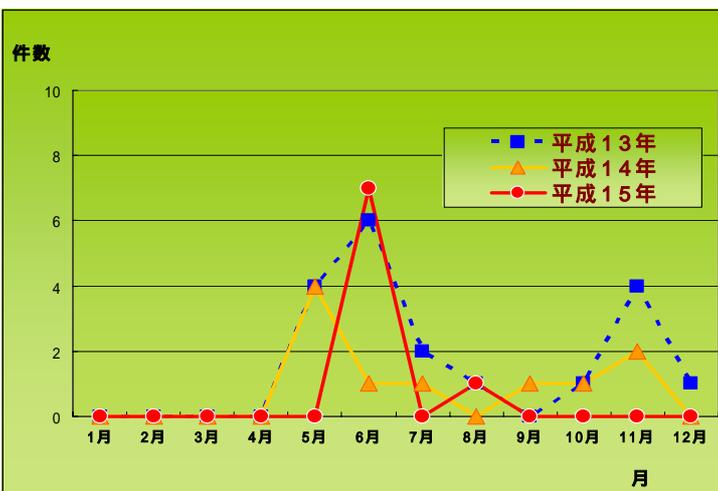
- (82) マイコプラズマ肺炎(五類定点把握疾患) 八戸保健所管内 5人 (16年計 42人)
- (5) クロイツフェルト・ヤコブ病(五類全数把握疾患) 青森保健所管内 1人 (16年計 1人)

感染症の窓

つつが虫病

(5類全数把握疾患です)

過去3年間の月別推移 (青森県)



平成15年の地区別報告数



- 病原体** ツツガムシ病リケッチア (*Orientia tsutsugamushi*) による感染症です。
- 感染経路** リケッチア保有のつつが虫の幼虫がヒトを刺すことによって皮膚から感染します。
- 好発時期** 青森県では6月をピークとした初夏と11月をピークとした晩秋に発生しています。
- 予防** 山林や野原などの野外に出るときは長袖、ズボンを着用し、素肌の露出は避けてください。 また、山や野原に入ってから5~14日後に発熱や発疹などの症状が出たら医療機関を受診してください。
- 全国比** 平成15年の報告数は鹿児島県(61件)、秋田県(26件)、宮崎県(24件)、福島県(19件)、新潟県(12件)、山形県(10件)、千葉県(10件)、広島県(8件)、青森県(8件)の順となっています。